

# 市町村合併 を考える

2003年(平成15年)

7.19[土]

栄町 総務企画事業部企画政策室

〒270-1592

千葉県印旛郡栄町安食台一丁目2番

電話番号：0476(95)1111

## 今までの経緯

町では、市町村合併を市民の皆さんと一緒に考えていくため、「市町村合併特集号」を8回にわたって発行し、協議の経過などをお知らせしてまいりました。3月9日号でもお知らせいたしましたように、「成田地域任意合併検討協議会(以下「任意協議会」)を構成してありました十一市町村で、それぞれの市町村議会に法定の「合併協議会」設置

議案を提案することで合意を得たものの、成田市議会での否決により、設置するには至らず、任意協議会も解散いたしました。

その結果、当時の一市町村での合併構想は白紙となり、任意協議会における一切の協議及び活動が、事実上終了となりました。

(左図のとおり)

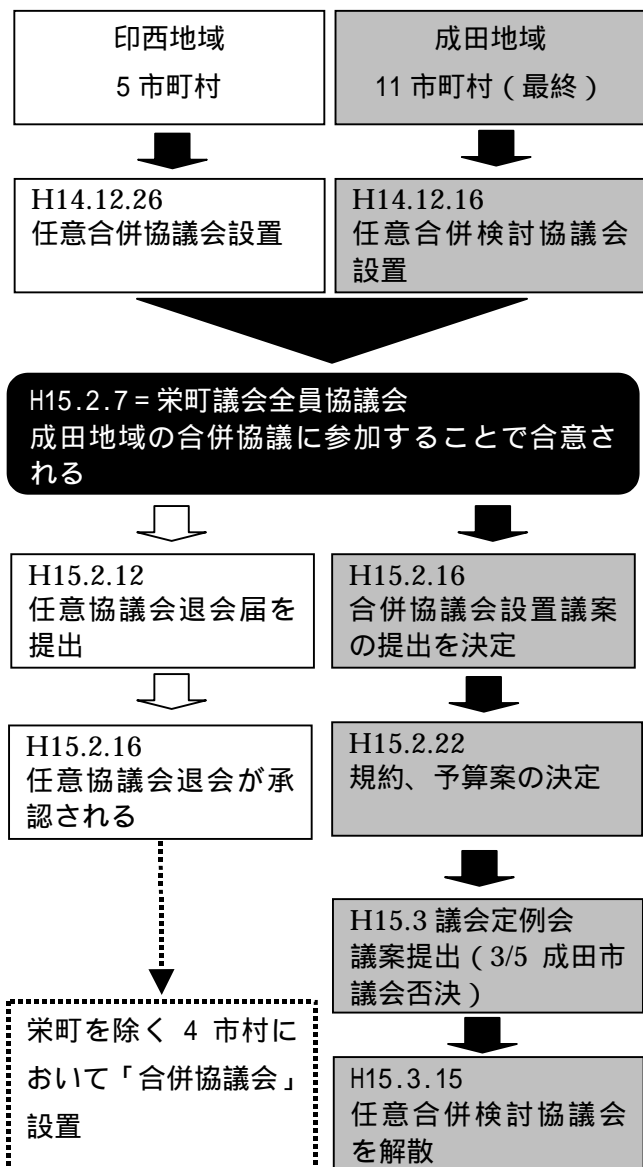
町といたしましては、任意協議会の活動は終了したものの、市町村合併に関する検討は最重要課題であり、継続した協議の場を設置することが

必要であると考えています。

また、栄町議会では「今後のまちづくりの手法として市町村合併を有効な手段と位置づけ調査・検討を継続する決議」が三月一日に賛成多数で決定されたところです。

町の考えといたしましては、今までの経緯なども踏まえ、成田市を中心とする地域における協議の継続が望ましいと考えています。しかし、合併に関する協議は、栄町だけできるものではなく、対象となる相手方があつてはじめて

## 市町村合併協議の経緯



## 新たな協議を

成田地域における任意協議会の解散を受けて、関係した自治体では様々な動きがありました。

芝山町においては、「芝山町・多古町・横芝町・蓮沼村」での合併協議会設置に対する住民発議による「設置請求」が提出されましたが、蓮沼村の山武地域への参加申し入れにより、実現はしませんでした。

また、新しく当選された成田市長は、初登壇の記者会見で、「最初に合併ありきではなく、都市の将来像・展望を明確にすべき」と表明されています。

協議の継続が可能となります。そのような中、この4月には、周辺自治体の多くで市町村長及び議会議員の選挙が行われるなど、市町村合併の協議ができる状況にはありませんでしたので、具体的な調整には至っておりませんでした。